

2015年12月9日

電通、IR（カジノを含む統合型リゾート）に関する調査を実施
— 国内導入の議論に当たっては、IRに対する継続的な認知・理解促進が不可欠 —

- IR導入に反対する層は44.6%。賛成する層29.3%を上回る
- IRを理解している層はわずか19.1%にとどまる
- IRへの認知・理解に伴ってイメージ・態度に変容が生じる
- IRへの理解が進むと、女性層の訪問意向が向上する傾向が見られる

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、本年9月に東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県在住の20～59歳の男女1,000名を対象に、国内での導入の議論が進められているカジノを含む統合型リゾート（Integrated Resort、略称：IR）の認知、イメージ、態度（賛否）を問うアンケート調査を行いました。

その結果、現状の賛否としては反対（44.6%）が賛成（29.3%）を上回ることが分かりました。一方、IRに関する情報が伝わってIRへの認知・理解が深まると、反対層の一部にポジティブな印象への態度変容が生じ、とりわけ女性層においてそれが顕著であることが分かりました。

具体的には、IRについて正しく理解している（「施設に行ったことがある」および「言葉の意味や具体的な施設を知っている」と回答した人は全体の19.1%、「言葉を聞いたことがある程度」と回答した人（49.7%）と合わせたIR認知層は計68.8%でした。【グラフ①参照】

また、IRを正しく理解している人（19.1%）の過半数がIRの国内導入に賛成である一方で、IRをまったく知らないと回答した人（＝IR非認知者、31.2%）の約5割が導入に反対し、賛成は2割以下にとどまることが分かりました。【グラフ②参照】

次に、IR施設について写真と文章で正しい情報や導入メリットを伝えた上で、改めてIRに対するイメージについて聞いたところ、IRの国内導入に対して「どちらかといえば反対」（20.7%）と「どちらともいえない」（26.1%）と答えていた人の2～4割が「イメージが良くなった」と回答しました。この要因としては、複合型の観光・集客・商業施設でファミリー層を対象とした施設が含まれることや国際的なレジャーを日本国内でも体験できること、誰もが24時間安心安全に滞在できること、観光などを通じ大量の雇用が創出されたり日本の内需拡大に寄与したりすること、IR施設が税金ではなく民間資本によって運営されることや反社会勢力が参入できない仕組みがあること、ギャンブル依存症の対策や青少年の入場禁止などの措置が検討されていることなど、IRの特徴が伝わったことなどが挙げられます。【グラフ⑥、⑦、⑧参照】

また、IR情報を提示することにより、IRに対する認知・理解に変化が生じ、一部のの人に次

の態度変容が見られました。主なものとして、「どちらかといえば賛成」からの態度変容では17.4%が「賛成」へ、13.0%が「どちらともいえない」へ変更。「どちらともいえない」からは15.7%が「どちらかといえば賛成」へと変容した。「どちらかといえば反対」からは26.6%が「どちらともいえない」へ、14.0%が「反対」へと変わりました。【グラフ⑨参照】

性年代別で見ると、IRの施設についての写真と文章による情報提示の前と後では、態度変容の割合として女性が男性を上回り、特に「20代女性」において「IRに行きたい」と回答する割合が高まりました。【グラフ⑫、⑬、⑭参照】

このように、IRについては賛否両論やイメージにギャップがある中、認知や理解が進むことによりイメージや態度に変容が生じるため、今後、IRの国内導入を進めるに当たっては、IRに対する継続的な認知・理解の促進が不可欠であると考えられます。

<その他の主な調査結果>

- ・ IR導入への賛成者は経済活性効果や観光価値向上効果をメリットと感じている。
【グラフ④参照】
- ・ IR導入に対する賛成者と反対者では、IR導入に伴うメリット、デメリットに対する認識に大きなギャップがある。【グラフ③、④、⑤参照】

<調査概要>

- ・ タイトル : カジノを含む統合型リゾート（IR）に関する一般生活者の認識調査
- ・ 調査方法 : インターネット調査
- ・ 調査期間 : 2015年9月11日（金）～9月14日（月）
- ・ 調査地域 : 1都3県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）
- ・ 調査対象 : 20～59歳の男女一般生活者
※サービス業（旅館・宿泊所・娯楽業）／放送業／調査・広告業への従事者は除外
- ・ サンプル数 : 1,000
- ・ 調査主体 : 株式会社電通
- ・ 実施機関 : 株式会社電通マクロミルインサイト

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
長澤、溪 TEL : 03-6316-8041

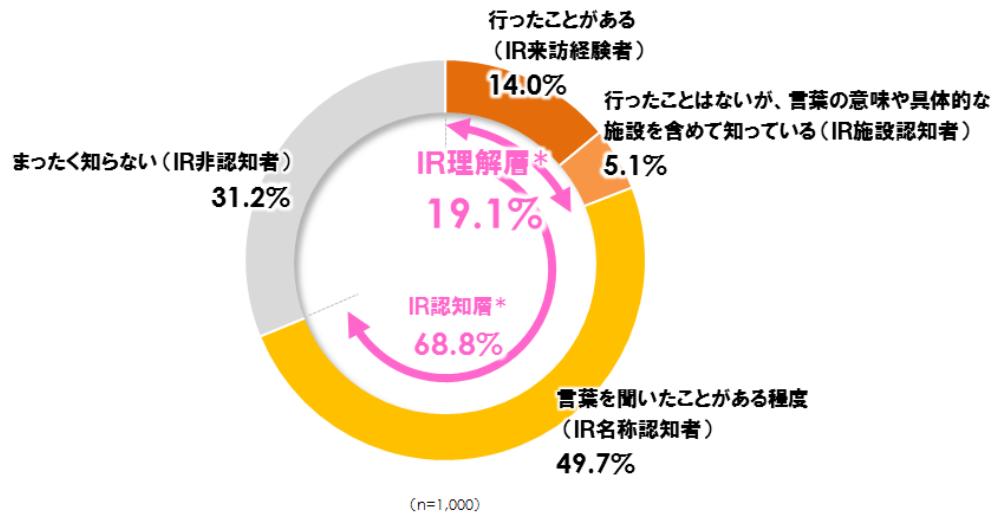
【調査に関する問い合わせ先】

株式会社電通 ビジネス・クリエイション・センター IR・観光プロジェクトチーム
岡部、山内 E-mail : jirforum@dentsu.co.jp

<詳細編>

【グラフ①】 IR を理解している人（以下、「施設に行ったことがある」「言葉の意味や具体的な施設を含めて知っている」）は全体の約 2 割（19.1%）。

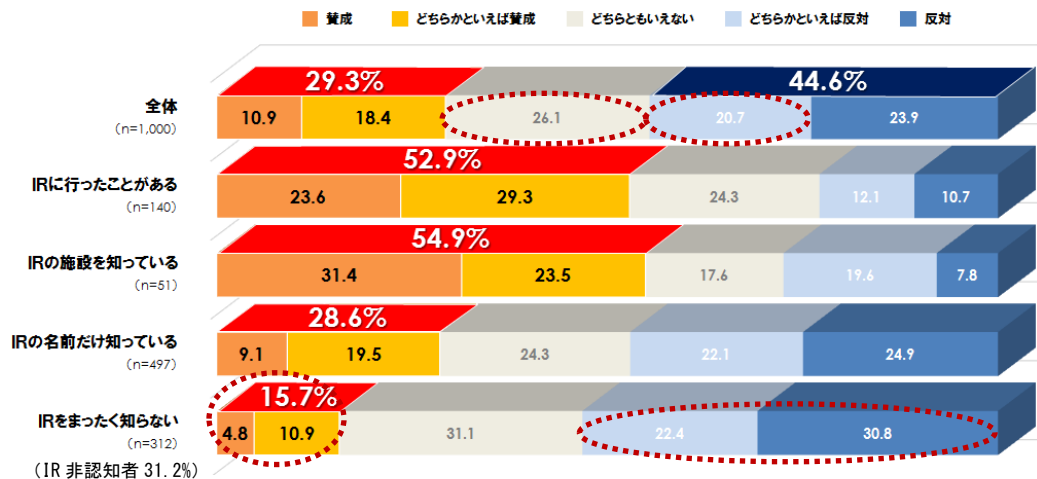
【質問項目】 あなたは、カジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」に行ったことがありますか、または言葉を見たり聞いたりしたことがありますか？



【グラフ②】 IR 導入の賛成層は 29.3%、反対層は 44.6%。IR 理解層の過半数が導入に賛成、認知が低い層（「名前だけ知っている」「まったく知らない」）の賛成は 15.7%～28.6%。

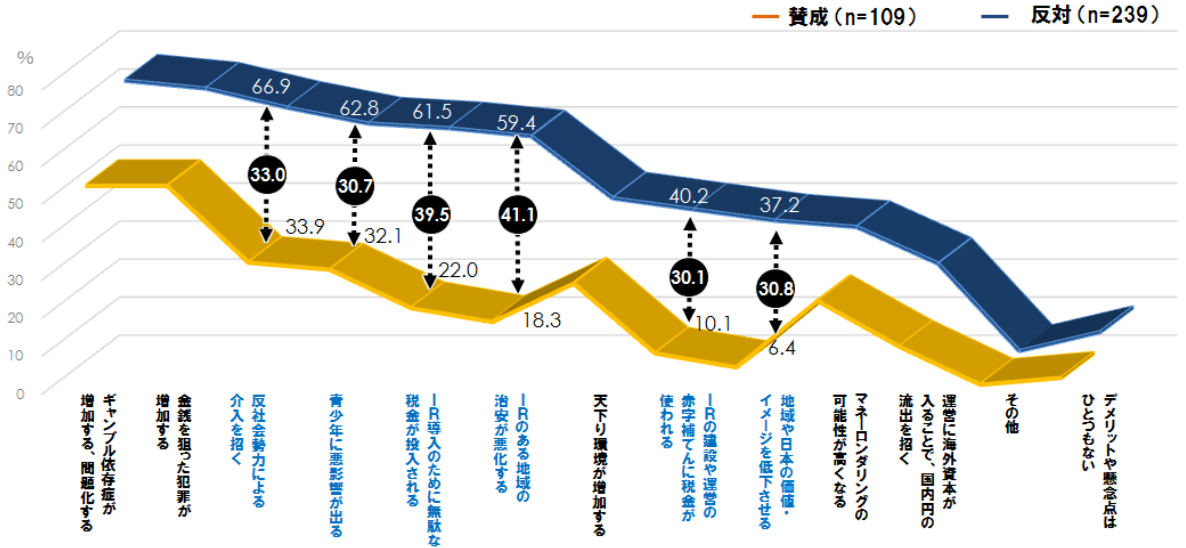
【質問項目】 あなたは、日本国内にカジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」が導入されることについて、どのように思われますか？次の中から、あなたのお気持ちに最も近いものをひとつだけお知らせください。

※カジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」を知らない方も、言葉から推察されるイメージでご回答ください。



【グラフ⑤】IR 導入の「賛成」⇔「反対」の各層では導入デメリット全般を通してギャップがあり、特に「反対」層は「IR への税金投入」「治安悪化」を懸念している。

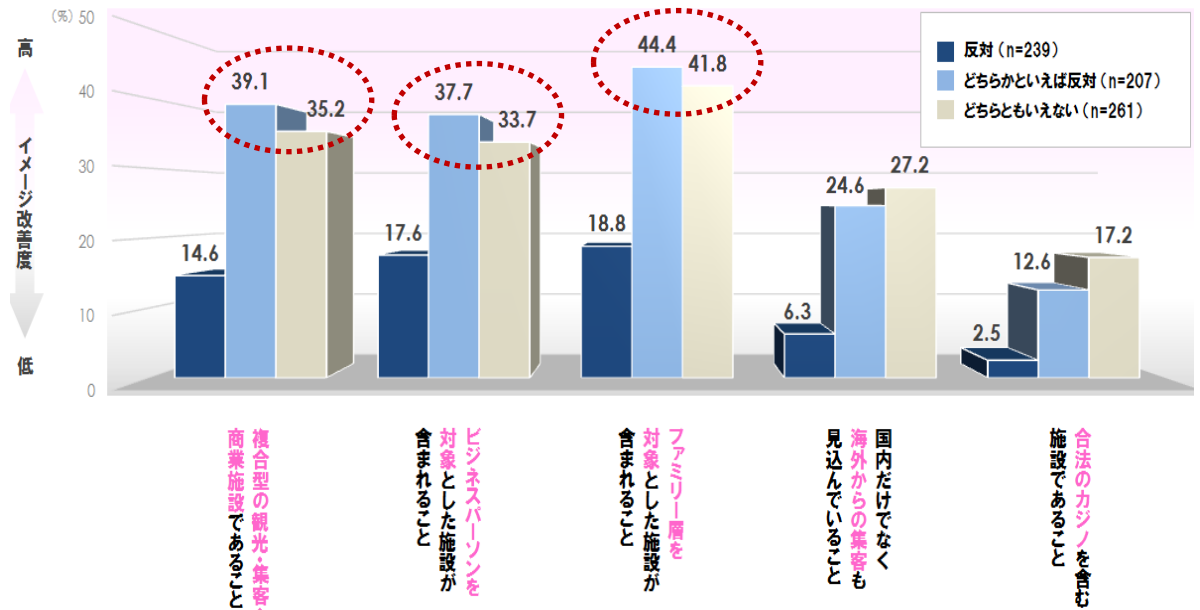
【質問項目】あなたは、日本国内においてカジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」を推進する際のデメリットや懸念点はどのようなところにあると思いますか？次の中からあてはまると思うものをすべてお知らせください。



■IRに関する情報提示後のイメージと態度の変容について

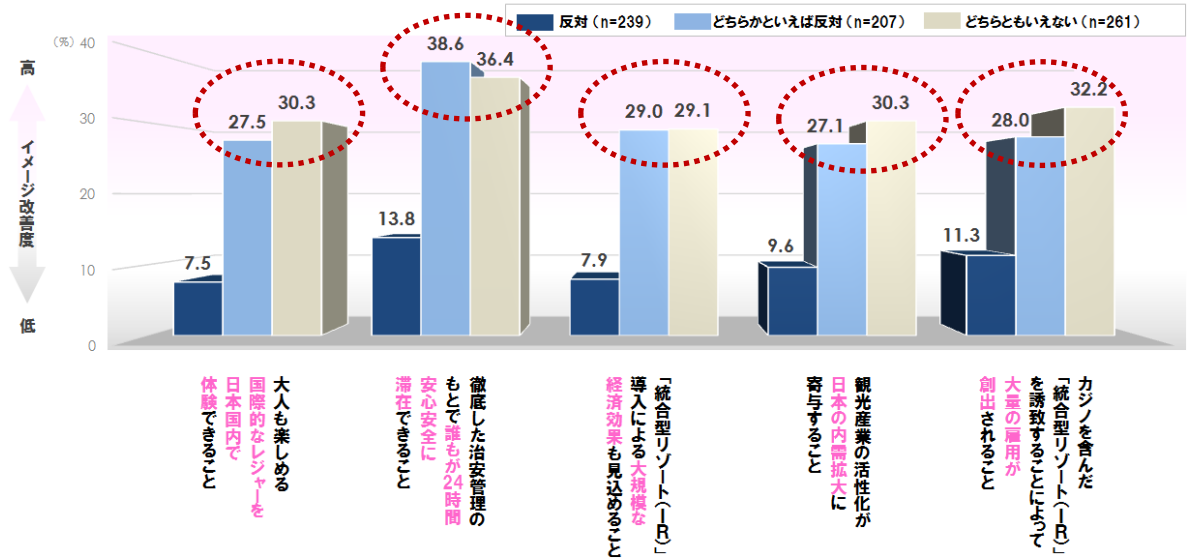
【グラフ⑥】IR 施設の情報を知ることにより、イメージが改善。

【質問項目】カジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」に関する説明文や画像をご覧になって、あなたの「統合型リゾート（IR）」に対するイメージや認識に変化はありましたか？



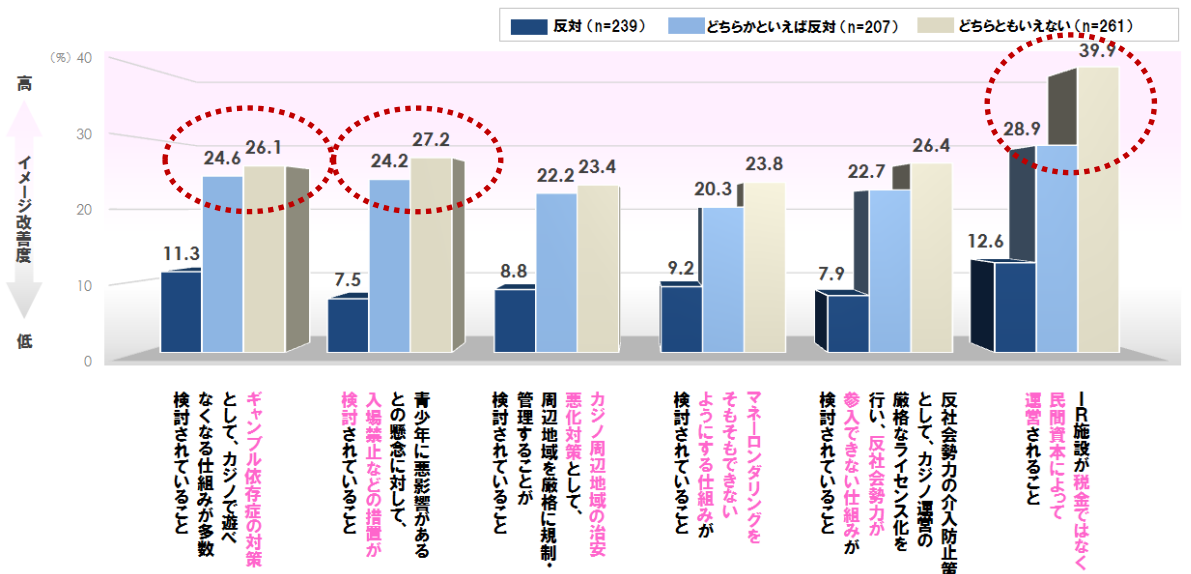
【グラフ⑦】 IR 施設の導入のメリットを知ることにより、イメージが改善。

【質問項目】 カジノを含んだ「統合型リゾート (IR)」に関する説明文や画像をご覧になって、あなたの「統合型リゾート (IR)」に対するイメージや認識に変化はありましたか？



【グラフ⑧】 IR 導入によるデメリットの対策を知ることにより、イメージが改善。

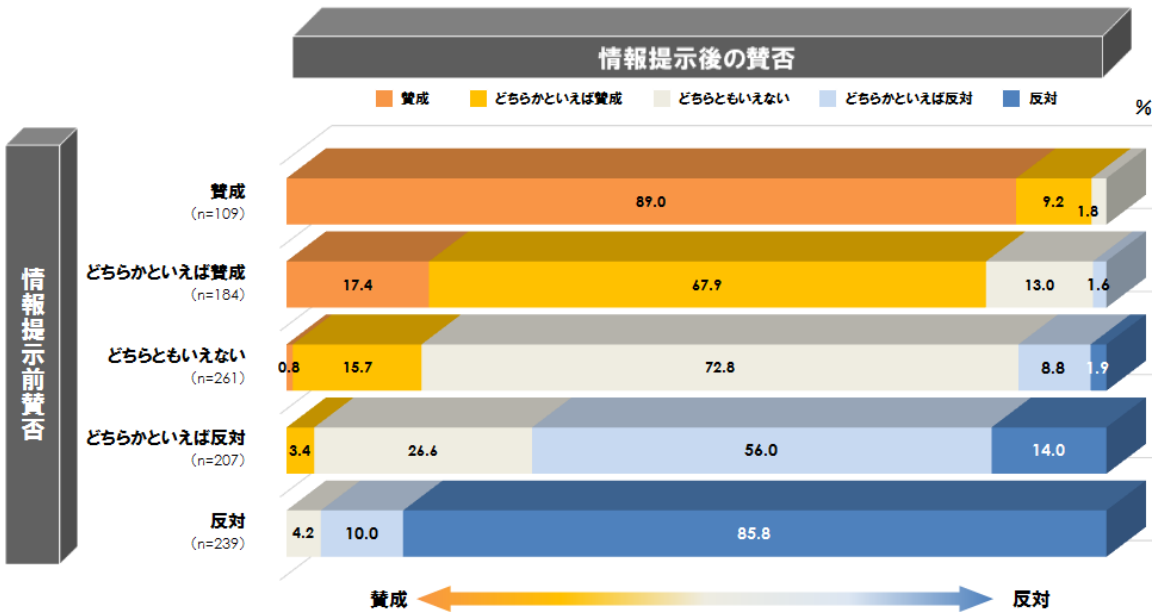
【質問項目】 カジノを含んだ「統合型リゾート (IR)」に関する説明文をお読みになって、あなたの「統合型リゾート (IR)」に対するイメージや認識に変化はありましたか？



■IR 情報提示後の態度変容の要因について

【グラフ⑨】 IR 情報を提示することにより、IR 導入の賛否について、一部の人に態度変容が生じた。

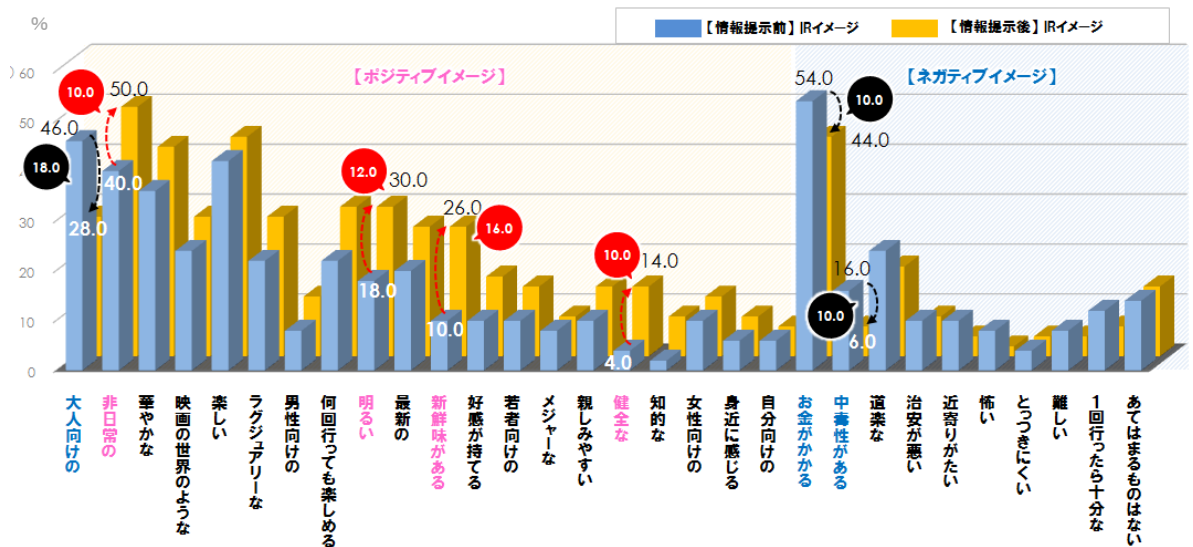
【質問項目】 これまでご覧になった「統合型リゾート（IR）」に関する情報内容を踏まえて、あなたは、日本国内でカジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」が導入されることについて、どのように思われますか。次の中から、あなたのお気持ちに最も近いものをひとつだけお知らせください。



【グラフ⑩】IRの導入に対し「反対・どちらともいえない」から「賛成」に変わった層*では、IRに対する「非日常」「明るい」「新鮮味がある」「健全」なポジティブイメージがアップし、「お金がかかる」「中毒性がある」といったネガティブイメージがダウンした。

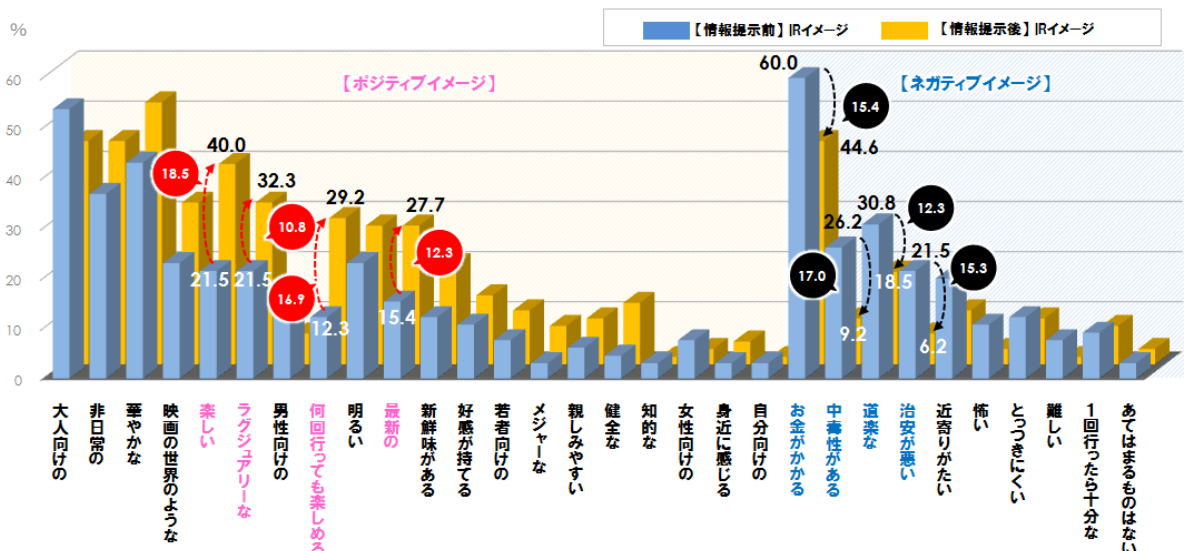
* 「反対・どちらともいえない」から「賛成」に変わった層 (n=50)

【質問項目】カジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」に関する説明文をお読みになったの、あなたの「統合型リゾート（IR）」に対するイメージをお聞きます。あなたは、カジノを含んだ「統合型リゾート（IR）」施設全体についてどのようなイメージを持ちましたか？ あてはまるものをすべてお知らせください。

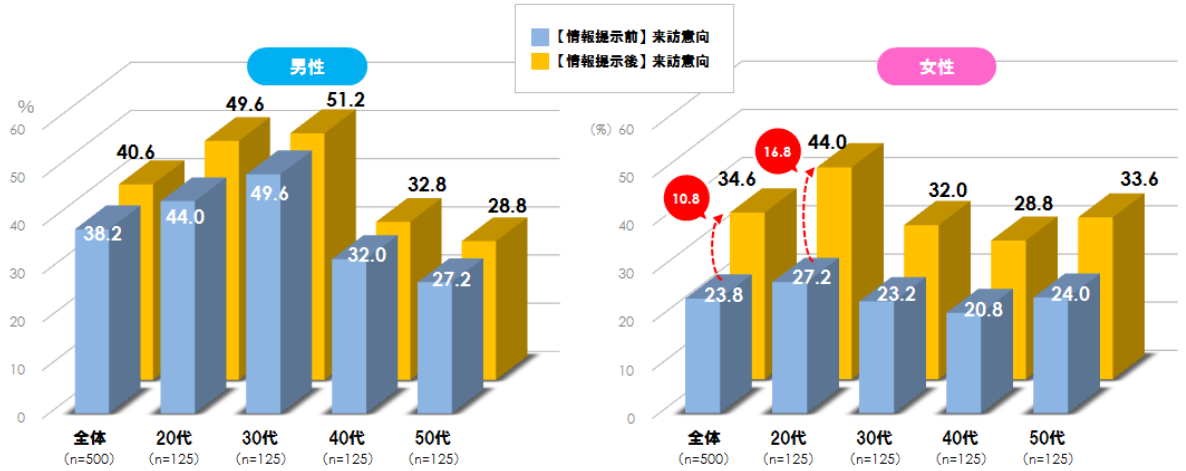


【グラフ⑪】IR導入に対し「反対」から「どちらともいえない」に変わった層*では、IRに対する「楽しい」「何回行っても楽しめる」などのポジティブイメージがアップし、「お金がかかる」「中毒性がある」「治安が悪い」などのネガティブイメージがダウンした。

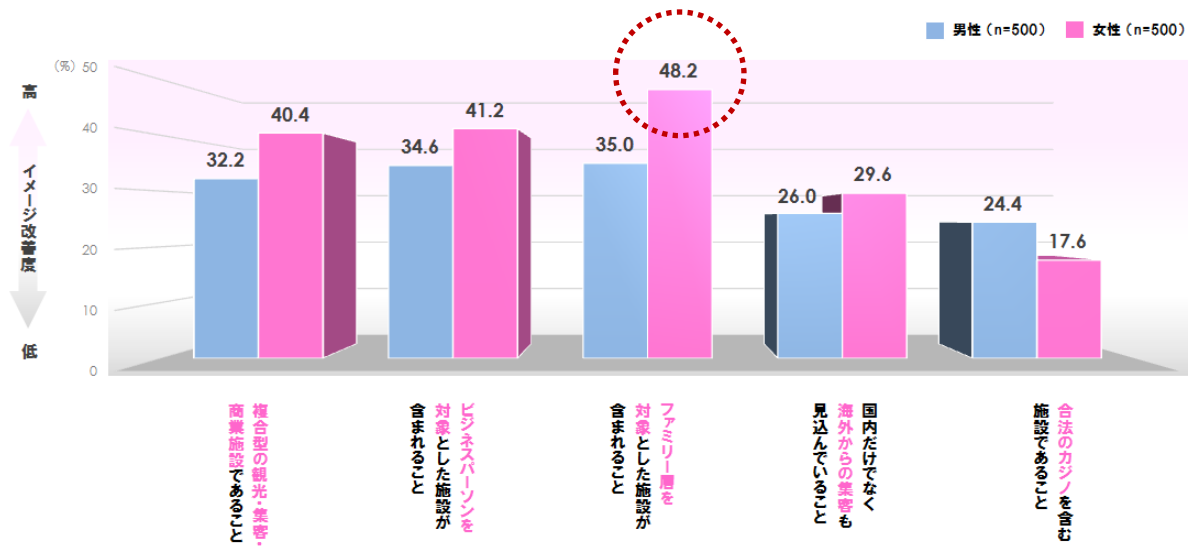
* 「反対」から「どちらともいえない」に変わった層 (n=65)



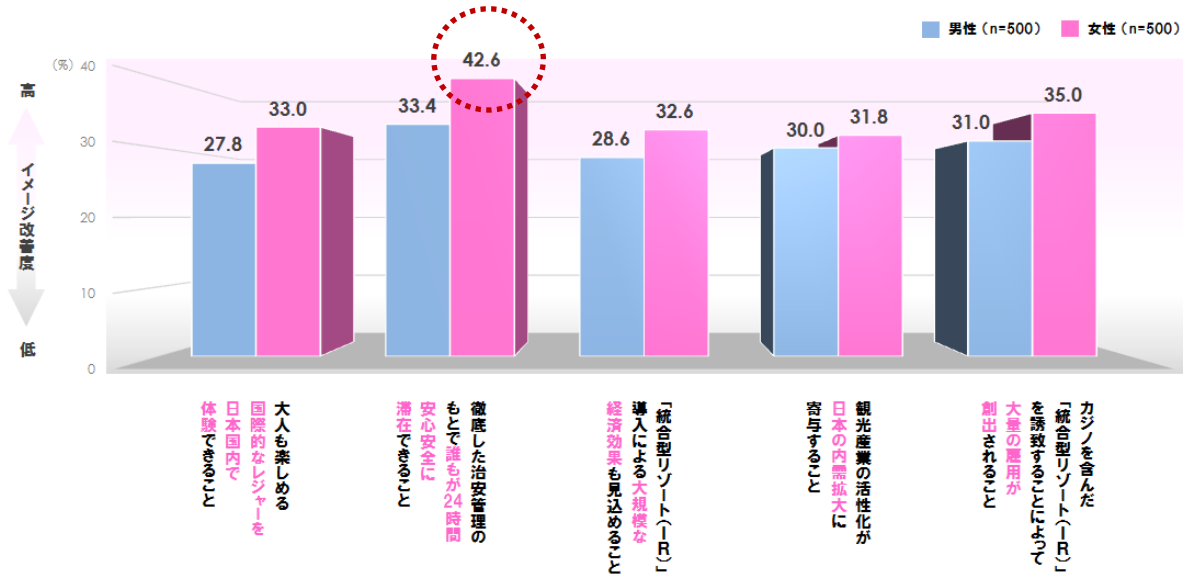
【グラフ⑫】 IR の情報提示により、女性（特に 20 代）の訪問意向が高まる。



【グラフ⑬】 IR 導入のメリットを伝えることによる IR のイメージ改善は、男性より女性が高い。特に「ファミリー層を対象とした施設が含まれること」を知るによるイメージの改善度が高い。



【グラフ⑭】IR導入のメリットを伝えることによるIRのイメージ改善は、男性より女性が高い。特に、「誰もが24時間安心安全に滞在できる」ことを知ることによるイメージの改善度が高い。



以上